議事録 議題 内容 ※以下敬称略 目次 商社リーグ・代表者会議について 主幹事・副幹事報告(提出物、試合結果確認) <出席者名簿> 3 合宿報告 役員会 金田会長、明柴、斎藤 諸連絡 三菱商事 小河原、小原 日鉄住金物産 多田、北川 三井物産 大塚、足立 日本ユニシス 斎藤、三橋 伊藤忠商事 平野、高柳 阪和興業 石野、長澤 住友商事 清水 日立ハイテク 関、中島 丸紅 豊嶋、中野、小山 JFE商事 岩田、木村 岩谷産業 圭裕、河原 兼松 鈴木、猪飼 双日 植田、長谷川 松本、阿部、法貴荻野、関 蝶理 豊田通商 対応事項 総括 期日/担当 得点者登録番号記入要領と、ベタ打ちによる減点是非を確認、役員会へ ―/双日 ① MC報告書について ② 代表者名簿について 会議での報告者が報告内容を理解出来ていない事実を社内報告。 —/兼松 3 4 (5) 期日/担当 決定事項 ① 商社リーグ参加費領収書について 今回担当役員が不在の為、次回代表者会議で対応する。 ② 運営要項・幹事マニュアルの再確認 次回会議までに全チームが運営要項、マニュアル、過去1年分の議事録を熟読する事。 <u>3</u> 4 (5) <u>情報共</u>有及び注意喚起事項 期日/担当 ① モニタリング対象について 今年度モニタリング対象の豊田通商、岩谷産業の2社、及び蝶理は、気を引き締めるように。 ② MC報告書について イエローカード、レッドカードの内容は必ず記入すること。 ③ 不可日申請について ④ 毎月の不可日申請は必ず提出すること。 **(5**) 意見交換及び審議事項 内容 期日/担当 (会議での議論事項) 1 2 3 4 (5) 講義及びその他 期日/担当 内容 商社リーグのコアバリューについての説明。 ① 4つのP ② 経営学 組織の継続、発展におけるマーケティングとイノベーションの重要性。 3 4 **⑤**

2017年度商社リーグ 第1回幹事会議

丸紅本社 東京日本橋タワー23階2318会議室

9月4日(月)19:30-21:30

下記参照

蝶理/法貴

日時

会場

出席チーム 欠席チーム 議事録

2017年度商社リーグ 第1回幹事会議 議事録

9月4日(月)19:30-21:30

丸紅本社 東京日本橋タワー23階2318会議室 会場

下記参照 出席チ **ー** /、 欠席チーム

議事録 蝶理/法貴

議題 内容

※以下敬称略

目次

商社リーグ・代表者会議について

- 主幹事·副幹事報告(提出物、試合結果確認)
- 3 合宿報告
- 諸連絡

<出席者名簿>

役員会 金田会長、明柴、斎藤

三菱商事 小河原、小原 三井物産 大塚、足立

伊藤忠商事 平野、高柳 住友商事 清水

丸.紅 豊嶋、中野、小山

岩谷産業 圭裕、河原 兼松 鈴木、猪飼

双日 植田、長谷川 松本、阿部、法貴荻野、関 蝶理

豊田通商

商社リーグ・代表者会議について(役員会/金田会長) 内容

(1) 代表者会議の意義

> ・代表者会議は年に全5回実施される。より良いリーグ運営をしていくために、変革すべき所、そうでない所を選別し、新たな改革を実施したい。 会議参加者はリーグ、チームを改革するチャンスがあるということを意識し、より良い方法を探し出して欲しい。

4つのP、組織について

·Passion(情熱を持ってサッカーに取り組む) Pride(自分の会社に誇りを持ち、会社の看板を背負い商社リーグに参加する)

Professional(参加者側、運営側の2つの軸足を持ちながらリーグに参加する) Punctual(時間、期日を確実に守る)

の4つであり、商社リーグのCore valueである。経営学的にはCore valueが浸透している組織程強い組織となる。

・経営学の神、Peter F. Druckerは、マーケティングとイノベーションの無い組織は滅ぶと述べている。

商社リーグを成長させていく為にCore valueを浸透させ、各々が経営学的な視点及び改革する気持ちを持ち会議に参加する事が大切である。

主幹事 · 副幹事報告

MC報告書提出状況(双日/植田)

- ·MC報告書は全チーム期限内に提出しているが、三菱商事、住友商事が得点者登録番号のベタ打ちが理由で減点。 三井物産がイエローカードの内容についての記載が無く減点。
- ・得点者番号のベタ打ちについて、MC報告書フォーマットに入力方法が記載されていなかったと思う。(三菱/小河原)
- ・双日はMC報告書フォーマットを再確認し、減点の是非・フォーマット不備の場合の対応を主幹事丸紅に報告すること。(役員会/金田)・イエローカードの内容記載無しについて。カードが出た場合、枚数及び内容を記載するとMC報告書に明記されてる。(役員会/明柴) 三井物産は報告書のフォーマットを確認し次回以降同じミスの無いようにする事。(役員会/金田)
- -ムデータの提出状況(兼松/猪飼)
 - ・チームデータ不備なしは6社のみ。三井物産は新ユニホームでの写真が間に合わず、期限遅れで0点(但し事前報告はあり。) (蝶理ユニシスは会議資料内にチームデータ3点とあるが、会議当日に0点との兼松説明あり。会議後に再確認し、3点で間違いなし。) ・名簿は、蝶理ユニシスが期限遅れで0点。
 - ・報告者(兼松/猪飼)が自身の報告資料・内容を理解出来ていない。兼松社内でも要報告、今後注意すること。(役員会/金田)
- 蜘蛛の巣グラフ、試合結果情報、不可日申請状況(丸紅/豊嶋)
 - ・不可日申請には年間不可日申請と毎月の不可日申請があり、毎月の不可日申請の提出がない場合0点とする。

日立ハイテク(第一回、第二回分)と豊田通商(第二回分)の2チームが期限遅れで、該当月分は0点。

・不可日申請は他のサッカーリーグに存在しないものであるが、商社リーグでは配慮して対応しているもの。期限を守れないのは論外であり、 守れなければ除名も辞さない。期限遅れの理由は?(役員会/金田)

完全に失念していた。(日立/北村) 同じく失念しており、チェック機能も構築できていない。(豊通/荻野)

- ・今年度モニタリングチームは岩谷産業、豊田通商の2社。蝶理/ユニシスはモニタリング対象にはなっていないが、要フォローとの位置づけ。 期限遅れ等のミスが続けば、除名対象となるので気を引き締めて取り組むこと。(役員会/金田)
- ・蜘蛛の巣グラフは、試合結果状況のみならず、提出物の状況等を元に作成しているもので、会社の株価チャートのようなもの。(丸紅/豊嶋)・蜘蛛の巣グラフの面積が大きい程、商社リーグの中で価値が高い。リーグ運営への貢献という意味ではピッチ外の部分も大切であり、
- 提出物等、基本的なところをしっかりやっていってほしい。(役員会/金田)
- **合宿報告**(丸紅/豊嶋)
 - ・8/26、27リソル生命の森で行われた。初日は各社対抗ソサイチ大会。1位伊藤忠、2位丸紅。ソサイチ後はバズセッション。 -マは「なぜ商社リーグに参加するのか、どうすればリーグに貢献できるか」 4つのPを意識し、プレゼンNo.1を決定した。 各社対抗ソサイチ大会、バズセッション、懇親会、2日目の混合ソサイチ大会等どのコンテンツも白熱し、商社リーグを盛り上げるイベントとしてうまく機能した。合宿参加ポイント1位は伊藤忠・平野氏。
 - ・主幹事の丸紅がここ10年で1番の仕切りを見せ、非常にスムーズで良い合宿となった。(役員会/金田)
 - ・来年度も8月末に開催する予定。積極的に参加して欲しい。(役員会/金田)
- 諸連絡(役員会)
 - ・商社リーグHPへのチームデータの登録はほぼ完了、2017年度メーリングリストは運用開始済、試合結果集計も運用開始済。
 - ・商社リーグ参加費の領収書については、担当の役員が不在の為次回会議に持ち越し。(役員会/斎藤)
 - ・代表者会議参加者は運営要項や幹事マニュアルを持参すると良い。不明点等、その場で確認しルール認識の強化ができる。(役員会/明柴)
 - ・不備が多いと会議は長引く。安易なミスを減らすことで、より純粋にサッカーが楽しめる運営につながる。(役員会/斎藤)
 - ・商社リーグは必ずキャプテンマークを付けなければならない。これは商社リーグでは、キャプテンに対して、 両チームキャプテンの申請があれば審判をMCと交替させることが出来るという特別な権限を与えており、権限者を明確にするため。 このような内容も運営要項に記載している。参加者ならば読んでしかるべき。会社の代表として運営にコミットするように。(役員会/金田)
 - ・次回代表者会議までに必ず運営要項、幹事マニュアル、過去1年分の代表者会議議事録を各自読んでくること。 全員で有意義な話の出来る会議にしていく。(役員会/金田)

以上

多田、北川

斎藤、三橋

石野、長澤 関、中島

岩田、木村

日鉄住金物産

日本ユニシス

日立ハイテク

阪和興業

JFE商事